

やましん歌壇掲載歌＜第18回＞

短歌	平成26年3月～平成31年4月		令和1年5月～	
	掲載短歌	H29年4月：春の日の射し込む御堂に祈りおり 耳を澄ませば雪解の瀬音：阿部京子選	R3年6月：ふる里の伝承絶えし獅子頭 設ふ古祠に父の面影（**）：佐藤幹夫選	
		H29年4月：目覚めれば鳥の囀り耳に入る 障子明るく春をうつせり：大滝 保選	R3年6月：うぐいすの初鳴き届きおずおずと 目覚むる朝はコロナ禍の春：井上管子選	
			R3年6月：廃屋の狭庭の草花風に揺れ 主の去りしを知るや知らずや（*）：大滝 保選	
共同制作の写真短歌（*）&写真短歌（**）	*…他人の写真に自身の短歌 *…写真も短歌も自身の作品		 知人（畠中氏）がFacebookへ投稿された写真に、当方が詠草を添え、了承をいただき共同制作の写真短歌作品に仕立てました。	
				
作品	短歌	下記の写真短歌の短歌を含めて86首	下記の写真短歌の短歌を含めて106首（令和7年7月まで）	
	写真短歌	38作品（自身の作品：37＋共同制作：1）	74作品（自身の作品：51＋共同制作：24）	